



抗がん剤（化学療法剤）の取り扱いについて

抗がん剤は、がんに対して効果があるだけでなく、同時に正常な細胞に対しても毒性があるため、副作用が起こることがあります。そのため、治療を受ける動物と飼い主さん、そして抗がん剤を取り扱う医療スタッフにも影響が及ぶことが懸念されています。

抗がん剤の多くは、投与後平均 48 時間は体外に排泄されると言われています。そのため投薬後 48 時間は治療動物の尿や便などの排泄物には注意が必要です。

『飼い主様へ』

【対策を取る期間】

抗がん剤投与～投与終了後 48 時間（2 日間）

【排泄物（尿・便）、嘔吐物を扱う際の注意点】

・準備しておく物

ペットシート、使い捨てのマスク、使い捨てのビニール手袋

使い捨てのペーパータオル（アルコールを含まないもの）、ビニール袋（ポリ袋）

- ・できるだけペットシートで排泄させましょう。
- ・排泄物、嘔吐物を処理するときは手袋を着用してください。
- ・排泄物、嘔吐物、使用済みペットシート（猫砂なども）、トイレ掃除に使った拭き取ったペーパータオルなどは、ビニール袋に密閉して廃棄してください。
- ・排泄物などが付着したリネン類（タオル、敷物など）は、その物だけで 2 度洗いしましょう。
- ・排泄物、嘔吐物などが皮膚についたらすぐに水道水で十分洗い流し、石鹸で洗いましょう。付着した皮膚に異常が現れたら、すぐに医師（人医）に受診してください。

『医療スタッフ』

抗がん剤は厳重な管理と取り扱いが必要です。医療スタッフの防護のために特別な調器具を使用し、また入院看護中には特別な取り扱い看護を行っています。

私たち医療スタッフは、抗がん剤を取り扱う際（調剤・投与・入院看護など）には、手袋・防護ガウン・マスク・アイガードなど个人防护具を着用します。